

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-3-4	事業名	藻岩山観光魅力アップ構想推進
担当	観光文化局観光部観光企画課 北川 雄次郎 211-2376		
全体計画（当初）			
事業内容	市民議論・市民参加を得ながら藻岩山魅力アップに係る構想を策定する。構想においては環境と観光開発が調和した藻岩山再整備に向けた方向性を示す。構想策定後はこれを基に、市、事業者の適正な役割分担のもと、それぞれ事業計画を策定し、整備にあたる。		<年度別の事業内容> 平成16年度 ・有識者懇談会の開催 ・市民フォーラム、地域ワークショップの開催 ・ホームページの企画運営 平成17～18年度 16年度の市民議論を踏まえ、決定する。
	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）
事業内容（量・場所・規模等）	これまで、平成14年度に「藻岩山観光ビジョン」を策定、平成15年度に「藻岩山観光魅力アップ事業」を実施し、藻岩山観光の位置づけを整理のうえ藻岩山の適正利用計画案を取りまとめた。 平成16年度は、これらを踏まえ、市民を交えた懇談会により、藻岩山の魅力を向上させるための方向性、ゾーンごとの機能分担、ソフトメニューや仕組みづくりについて議論が行われ、「藻岩山魅力アップのために～藻岩山の魅力を考える懇談会報告～」として提言がまとめられた。併せて、懇談会に市民意見を反映させるため、キックオフシンポジウム、通信誌やホームページによる情報周知・情報収集、市民フォーラムを実施した。	平成16年度に開催された懇談会報告をもとに、藻岩山を楽しむ学ぼうためのソフトメニューを実施し、アンケートなどを行いながら参加者の意見収集を行うとともに、関係者間で協議を進めながら、ロープウェイ等藻岩山関連施設再整備に向け、具体的な整備内容、整備手法の検討を行った。 また、藻岩山魅力アップに賛同する団体や個人の連絡組織として「藻岩山魅力アップ連絡協議会」を発足し、ソフト事業実施に係る連絡調整を行っている。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）	評価（成果）	
	平成17年度の検討を踏まえ「藻岩山魅力アップ構想」を観光文化局として策定した。併せて今後の施設再整備において課題となる自然環境への影響及び給排水施設について基礎調査を実施した。また、平成17年度に引き続き、魅力アップ活動を推進するためのソフトメニューの実施支援を行った。ソフト事業は、17年度に引き続き、5月31日に「藻岩山の日」記念事業、10月には「お月見コンサート」を、新規事業としては、夏季には「もいわやま樹木博士」、冬季には「アートプロジェクトパブリックアート」「さっぽろナイトビューロマンティックバスポート」を実施した。	市のソフトを重視した事業方針を受け、事業者の積極的な事業展開につながっている。 特に藻岩山の日（5月31日）記念事業においては、市民、事業者の協働の下、17、18年度合わせて約10,000人の方々が訪れるなど、多くの市民に藻岩山の魅力を発信することができた。 また、当日にはアンケート調査を行い、藻岩山におけるソフト事業検討にあたっての情報収集を行うことができた。アンケートの結果、人気のあった事業のなかで、通年化することとなったもの（藻岩山エコ登山隊）もあり、藻岩山の魅力向上につながることができた。これらのソフト事業の積極的な展開により、ロープウェイの利用者は17年度比で39,323人の増となった。	
課題			
ロープウェイや駅舎などの藻岩山関連観光施設が老朽化していることから施設再整備が必要となっている。平成16年度の懇談会で示された方向性を踏まえ、「藻岩山魅力アップ構想」を策定し施設再整備を含めた今後の藻岩山の方向性を示した。19年度以降はこの構想に基づき、ハード、ソフト両面で藻岩山の魅力をより高めていくための整備をどのように具体的に化していくかが課題となる。			
19年度以降の方向性・事業の予定			
札幌市と民間事業者との適切な役割分担のもと「藻岩山魅力アップ構想」の推進及び具体化を進める。 藻岩山は自然と共生する札幌のまちづくりの象徴として、多くの市民が誇りに思い、札幌を感じられる場所・見える場所として、市民や観光客の区別なく誰もが訪れたいような場所となることを目指すものである。 藻岩山を環境文化都市・集客交流都市札幌のシンボルとして、札幌の価値・魅力を発信する拠点とする。 藻岩山までの交通機関からのアクセスを向上を図るとともに、ロープウェイなどのバリアフリー化を図るなど、誰もが気楽に藻岩山に触れることのできる環境を整備する。 市民やNPOなどの多様な主体の参画により、市民の藻岩山の豊かな自然環境を楽しむ学ぼう活動を促進する。 平成19年度 環境配慮ガイドライン策定、都市再生整備計画の策定（まち再生出資業務、まちづくり交付金）（市）、施設計画案の調整（基本計画、市・公社） 平成20年度 新会社設立（公社）、収益的施設等の設計（SPC）、札幌紹介施設等の設計（市） 平成21年度 建築土木工事 平成22年度 建築土木工事～開業			

